



# Pick Up Point!

## 瀬谷区全体の傾向を見てみよう!

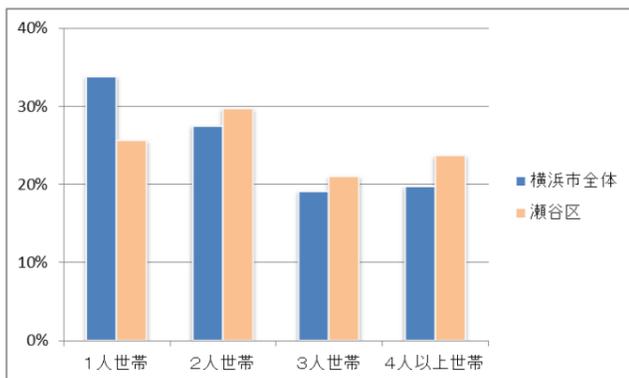
### Point

①

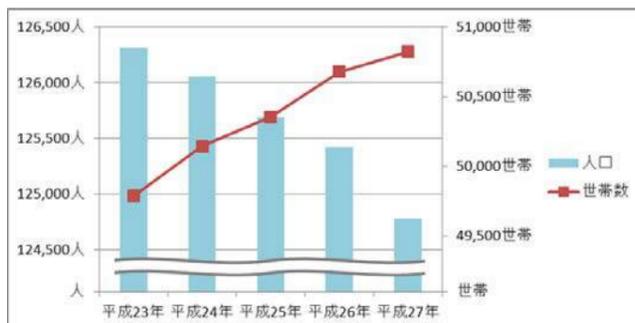
#### 人口減少傾向が続くが世帯数は増加

横浜市全体で単身世帯が増える中、瀬谷区は、まだまだ単身世帯よりも家族で暮らす世帯が多い傾向があります。しかし、近年、世帯人員（ひと世帯の人数）の減少の兆候が見られ始めました。瀬谷区の人口は5年連続で減少しており、5年間でなんと1,947人減少しています（1.5%減）。一方、世帯数はほぼ連続して増加しており、この5年間で844世帯増（1.6%増）となりました。世帯数は全市的に増えており、瀬谷区よりも人口減少率が著しい金沢区や栄区でも同様の傾向がみられます。この理由は高齢者世帯での配偶者の死去、就職や入学による子ども世代の転出、転入する世帯構成が”一人暮らし”や”夫婦と子ども1人”など、世帯人員の少ない世帯が増えていることが原因であると考えられます。

全世帯に占める世帯人数ごとの割合



瀬谷区の過去5年間の人口・世帯数推移



※ これらの表は平成22年度国勢調査データを基に作成しました。

### Point

②

#### 市内からの転入も多いが、市外への転出がそれを上回る

人口増減の内訳を見てみると、死亡が出生を上回る自然減が続いています。また、転出入を見ると、市内の他区から瀬谷区への転入は瀬谷区からの転出を上回る傾向が続いています。一方で、横浜市外へは転出超過となり、その数は市内からの転入を上回り、自然減と合わせて、毎年人口減少の傾向に結びついています。

### Point

③

#### 市内でも高齢化が進んでいる一方で、子どもの割合も高い

65歳以上の人口が全人口に占める高齢化率は25.5%で全市平均の22.8%を3ポイント近く上回り、全市の中でも高齢化が進んでいる地域です。一方で、14歳以下の割合も高く、全市の中では5番目となっています。地域の活動は高齢者を対象としたものが多くありますが、子どもやその親を対象とした活動の充実も必要と言えます。

#### 編集後記

今回の号では、瀬谷区の人口の動きの基本的な数字を見てきました。これだけでは物足りないという方もいらっしゃるかと思います。次号では瀬谷区にはどこから転居してくるのか、瀬谷区からどこに転居するのか、それを年齢別に分析するなど、より詳しく解説する予定です。

#### 【お問い合わせ先】

瀬谷区役所 地域振興課  
地域力推進担当  
TEL 045(367)5789  
FAX 045(367)4423  
〒246-0021  
横浜市瀬谷区二ツ橋町190番地  
発行/平成27年11月

※ 今回のデータは、原則として、毎年4月1日現在のものです。

# 地域づくり

## 通信 第25号 平成27年11月

## 人口から瀬谷区を読み解く



せやまる

今、全国的に少子化・高齢化が進み、多くの地域で人口減少も始まっています。瀬谷区の場合はどのような傾向なのでしょう？

地域で活動を行っていくためには、地域の実情を把握することが大切です。地域の活動の中で得た情報は次の活動の展開のために大変重要ですが、客観的なデータを把握することも地域の実情の把握や評価、今後の活動のヒントになります。

今回の地域づくり通信では瀬谷区の人口をテーマに、人口減や高齢化、少子化という課題について次号も含めデータを多角的に紹介します。

2, 3面では地区別の人口について紹介し、4面では区全体の人口に関する様々な側面を紹介します。

#### 瀬谷区と横浜市の統計データ比較

※ 75歳以上は65歳以上の内数

	瀬谷区		横浜市全体	
	平成26年	平成27年	平成26年	平成27年
世帯数	54,967	55,199	1,623,606	1,638,946
人口	126,639	126,299	3,702,093	3,712,170
14歳以下	13.8%	13.6%	13.0%	12.9%
15~64歳	61.5%	60.9%	64.9%	64.3%
65歳以上	24.8%	25.5%	22.1%	22.8%
75歳以上	11.6%	12.1%	10.1%	10.5%

## 地域づくり通信とは



住んでいる人が自分たちの街に愛着を持ち、暮らしやすい街を作り上げていくためには、自治会・町内会、社会福祉協議会、NPOなどをはじめとする地域で活動する団体がより積極的に活動する環境づくりが重要となっています。地域づくり通信は地域活動に役立てていただくため、各地区の活動事例や活動のもとになるデータを紹介しています。

